

後輩たちへのエール！ その49

2021年12月15日

与えられた役割から自分のやりたいことを切り開く道もあります

◇今回は、杉山製作所代表取締役 島田亜由美さん からのメッセージです！

高校時代の思い出は、勉強はそこそこに（笑）自由奔放で部活・球技大会・体育祭を楽しむ体育会系女子でした。毎日楽しく過ごすことに一生懸命で将来の事なんてあんまり考えたことが無かった高校生でした。

その後大学、色んな仕事を経験し、今では関市で鉄家具メーカーの会社を経営しています。地元で仕事をしていますが、全国のお客様や海外への発信など地方で心豊かな生活をしながら関市のモノづくりの良さを伝える役割を心掛けています。



仕事風景

①リーダーシップ

今は会社経営をしていますがリーダーシップは高校がスタート。

私自身は、自分から何かをしたい！始めたい！というタイプではありません。どちらかというто与えられた環境で精一杯やるタイプです。高校ではバレーボール部のキャプテンでしたが、これもポジションで与えられた役割でした。強いチームではなかったので私の役割は周りをよく見て、常にみんなより一歩先に行動することくらいでした。

これを毎日繰り返すことでその先に起こる危機管理や未来のイメージができるようになり、今思えばこの一歩先の行動力がリーダーシップに繋がったのかなと思います。

②経験

今があるのは様々な経験のおかげです。

私は頭で理解するだけでなく、自らそれを経験することで学び、自分に中に落とし込み、そこから出てくる考え方やアイデア、発想を大切にしています。

人生の中で楽しい経験もありますが、辛い経験も必ずあります。どんな経験も全部含めて今の自分を創ってきました。自分の人生で常に今が一番！と思っています。

なんでもいい。経験したことを自分が生きる力に変えていける対応力をつけてほしいと思います。いい経験も悪い経験も常に次につながる勉強だと思えば前進しかありません。

③困難

次から次へとやってくる困難をいつかはやってよかったと感謝できる人になりたい。

私は会社員からインテリアコーディネーターになり、今では鉄家具メーカーの代表をしています。父から受け継いだ会社は自動車部品の溶接や部品加工の会社です。慣れない仕事の中で次から次へと出てくる困難、苦しくて悔しい思いをする毎日が続きました。周りの力を借りながら自社の強みを生かして今では鉄家具のメーカーに変化させることで自分のやりたいと思える仕事になりました。苦しかったけど今ではこの仕事が天職だといえる自分になりました。

もちろん自分の夢ややりたいことがあり、それに向かって進むことが一番だと思います。ただ、まだやりたい事が見つかっていない人も多いと思いますし、もしかしたら気持ちが変わったり、叶わなかったりすることもあると思います。

私が思うのは、自分が楽しいと思えるものに変化させていけばよいと思います。

それは周りを変えるのではなく自分が変わっていく事で周りが変わっていく事に気づきます。最終的には自分の力でやりたいことを切り開くことができます。

与えられた環境をどう変化させるかは自分次第ですね。

最後はすべてに感謝をして人生を終える自分でいたいと思います。

④継続

大きなことをするのではなく日々その思いを持ち続けて、そして行動し続けることで変化を生みます。始めることは簡単ですが続けることはとても大変です。でもそれをやった人だけが5年後10年後に味わえる想いがあります。

50年以上生きてきた今だから言える言葉ですが、将来迷ったときに少しでも役に立てばと思い書かせていただきました。

時代はどんどん変化し情報量も違います。たくさんの情報があるからこそ難しい決断も多いのかなと最近感じます。周りの環境が変わってもひとりの人としての人生は昔も今も変わりません。シンプルに人生を楽しむこと、そして大きなYESを持ち続ける心を大切にしてほしいと思います。



杉山製作所の鉄家具